

便潜血陽性！その結果スルーしていませんか？

大腸CT検査

ご案内



※**便潜血検査**の判定が**陽性**の方へ

便潜血検査は、痔で陽性となることもあります。病気が隠れていないか確認するためにも、ぜひ大腸の精密検査を受ける事をおすすめします。

大腸内視鏡検査に抵抗がありましたら、苦痛の少ない大腸CT検査をおすすめします。

大腸がんの死亡率は、女性で第1位

現在、日本人のがん部位別死亡率で『大腸がん』は、女性で1位、男性で2位です。

死亡率が高い理由の1つに、便潜血反応検査で陽性になっても、「痛い・苦しい・恥ずかしい」などの理由から、精密検査を受診せずに、放置している方が多いことがあげられます。

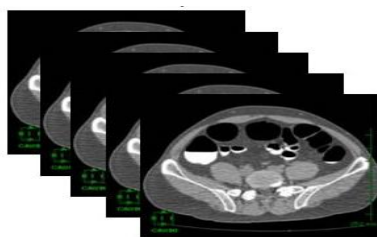
また、生存率の調査から、早期発見できればほぼ完治することが分かっています。

（参考資料：国立がん研究センターがん情報サービス、人口動態統計によるがん死亡データ 2021年）

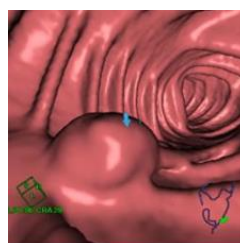
精度が高く、苦痛の少ない『大腸CT検査』

『大腸CT検査』とは、CTで得られた画像をもとに、腸の病気やポリープなどを見つけるための検査です。撮影時には腸が拡張している必要があるため、炭酸ガスを肛門から注入します。炭酸ガスは速やかに腸管から吸収され、呼気中に排出されるため、検査後の腹満感が軽減されます。

撮影室に入ってから15～20分程度で検査は終了します。



CT 画像データ



仮想内視鏡像



仮想注腸像

大腸CT検査 について、裏面で詳しくご説明

大腸がんを早期に発見するために画像診断をおすすめします。
画像診断には**大腸内視鏡検査**と**大腸CT検査**があります。

大腸内視鏡検査



〔メリット〕

- ◎ 大腸内を直接見る事ができる。
- ◎ 検査に続いて、ポリープの切除等の治療ができる。

〔デメリット〕

- ◎ 下剤の量が多い。
- ◎ 検査の時間が長い。
- ◎ 痛みを伴うことがある。

大腸CT検査



〔メリット〕

- ◎ 下剤の量が少ない。
- ◎ 検査の時間が短い。
- ◎ 痛みを伴うことが少ない。
- ◎ 大腸以外の臓器(肝臓・胆のう・脾臓等)を確認できる。

〔デメリット〕

- ◎ 大腸内を直接見る事ができない。
- ◎ ポリープの切除等の治療ができない。
- ◎ ごく少量の被ばくを伴う。

聖隷沼津病院ではどちらの検査も受診できます。

※精密検査法の最終的な判断は専門医が行います。ご希望に添えない場合がありますので
予めご了承ください。



大腸CT検査のながれ

○診察（病院）

検査日までに問診と検査説明をします。説明後に、検査食と薬をお持ち帰りいただきます。

○検査準備（自宅）

前日は検査食を食べます。前日と当日に下剤や造影剤を飲んでいただきます。

○検査当日（病院）

CTにて撮影を行います。

○結果説明（病院）

後日、検査の結果について説明します。

お問い合わせについて

◎ 聖隷沼津病院を受診ご希望の方

※必ずご予約が必要です。

TEL:055-952-1000

★お電話にて、「聖隷沼津健康診断センターからの紹介です。」とお伝えいただき、病診連携室への取り次ぎをご依頼ください。

受付時間 9:00~16:30（月～金曜日）

9:00~12:00（土曜日）

※日曜日・祝祭日は除く